

第3回 熊野川懇談会 議事骨子

開催日時 平成17年8月1日(月) 14:00~16:30
開催場所 鷺殿村生涯学習センター まなびの郷
出席者: 委員12人(4名欠席)、河川管理者等8人、傍聴者 44人

第3回熊野川懇談会を開催し、これまでの経過報告の後、委員補充について、現地視察会のまとめ、熊野川懇談会の進め方について審議を行った。第3回の議事骨子は以下のようである。

1. 経過報告

- ・熊野川懇談会における設立後の審議・活動内容及び第3回懇談会の広報内容についての報告が行なわれた。

2. 委員補充について

- ・竹中委員(広報分野)の辞任が承認され、欠員を補充することとなった。
- ・補充委員候補は推薦によるものとし、運営会議委員と元設立準備会委員が候補者の選考(非公開)にあたる。
- ・懇談会委員による候補者の内諾を得て、河川管理者に欠員補充を要請する。

3. 現地視察会のまとめ

- ・現地視察会のまとめとして、視察箇所の各管理者(紀南河川国道事務所、紀の川ダム統合管理事務所、三重県、和歌山県、関西電力(株)、電源開発(株))より現状及び河川整備上留意すべき事項について説明を受け、その内容について質疑応答を行った。

4. 熊野川懇談会の進め方について

- ・「熊野川を語る会の運営と内容」「河川整備に係わる課題」等について自由に議論できる場を設ける。
- ・検討会は次の懇談会の前に時間をかけて忌憚なく協議ができるよう非公開で開催する。
- ・委員、有識者からの情報提供は、懇談会の状況に合わせ適宜行う。

(主な意見)

- ・地元の人々が何を望んでいるのかを知る必要がある。意見を聞いて課題を整理する段階でワーキングを立ち上げればよい。
- ・地元の意見を聴き、課題をまとめる方法の一つとしてKJ法というものがあり、これを用いて課題を集約することが出来る。(KJ法:様々な意見を集約するために使われる技法)
- ・委員の中には専門家の方が多くおられるので、それぞれの専門分野について懇談会で披露する機会を作りたい。
- ・熊野川を生活の場として生きてこられた方の生活や知恵、工夫について話が聞きたい。
- ・熊野川を中心とした観光の課題について話を聞きたい。
- ・懇談会委員が議論したことを河川管理者はどこまで受け入れてくれるのかを知りたい。
- ・データの請求については課題毎に集約する。

5. その他(傍聴者からの主な意見)

- ・昔に比べれば熊野川の水は濁っている。濁水について考えて欲しい。(新宮市)
- ・現在も行われている砂利採取が将来どのような影響を与えるか、今後も幅広い議論をお願いしたい。(新宮市)
- ・日足地区の洪水対策を考えて欲しい。ダムの件について話を聞いて安心できた。(新宮市)
- ・懇談会の委員に、熊野川町や田辺市本宮の人を入れて欲しい。(熊野川町)